

前会長豊国秀夫氏 (1932-1992)

井上 健

大部分の方はご存知と思いますが、本会会長の豊国秀夫信州大学教授は平成4年9月26日に扁平上皮癌のために逝去しました。豊国氏は昭和7年1月29日北海道室蘭市に生まれ、同30年に北海道大学理学部を卒業、同37年北海道大学理学系大学院博士課程を修了し、北海道大学から理学博士の学位を授与された。旭川大学女子短期大学助教授、旭川大学教授を経て、昭和53年4月より教授として信州大学教養部に移り、昨年死亡するまで専門分野の研究および学生の教育指導に当たっていた。

豊国氏の研究の専門分野はリンドウ科の系統分類で、ヤクシマリンドウ、サンプクリンドウ、チシマリンドウなどを含めたリンドウ科植物の新体系は世界的に評価されているものである。同氏は北海道を中心にした高山植物にも造詣が深く、論文や一般書に多くの知見を発表している。また、同氏は近年花粉学の分野においても研究を行っており、植物分類学などへの花粉の応用などを研究中であった。同氏はラテン語にも造詣が深く、学会誌でのラテン文の記載の校閲やラテン語辞典の発刊などラテン語関係においても貢献が大き

かった。

豊国氏は清水建美氏（現金沢大学教授）の後を受けて、昭和63年4月に会長として選出され死亡するまで、例会の開催・会報の発行・会計・庶務など会の運営のすべてに精力的にあたられた。



豊国秀夫 (1932-1992)

【植物ニュース】 172. クロガラシ

Brassica nigra KOCH.

アブラナ属の中で果梗が中軸に接近して狭角につくことを特徴とする。同定には果実の時期が好都合である。石垣上ののり面に生育していた。県下初採。欧州・西アジア原産の帰化植物。

花：1992年6月28日。東筑摩郡明科町大足。

果実：1993年7月19日。同上

(横内 文人)

【植物ニュース】 173. オオイタドリ

Reynoutria sachalinensis NAKAI

裏日本型分布の大形のイタドリである。北アルプス山系の南限に近い分布と思われる。ここより南の分布は、どうだろうか。1992年8月11日。南安曇郡穂高町中房川(1700m)。

以上、標本の一部は神奈川県立博物館・高橋秀男先生に同定して戴いた。記して感謝いたします。
(横内 文人)